

大学婦人協会東京支部

2001. 7  
第30号

## 一年の活動を振り返って

東京支部長 坂上栄美子

梅雨明けも間近でしょう。皆様お元気で活躍のことと思います。

二〇〇〇年度の支部活動に、皆様は何回参加されましたか。参加されたのご感想はいかがですか。

九年ぶりに全国総会を東京支部で開催しましたが、皆様のご協力と大勢のご出席のお陰で、無事終えることができました。全国総会については、本部会報「JAUW」2002号に、「開催支部報告」として概要をご報告いたしました。また、会計報告は「ともしび」本号に掲載しております。併せてご覧ください。

支部の通常の活動も、大勢の皆様にご参加いただきましたと、元氣な委員たちが張り切りしました。多くの方に助けていただいて、大きな講演会も開催することができました。六回の講演会に、延べ一六二人の一般の方が参加してくださったことは、特に嬉しいことでした。

また新たに二つのサークルが発足しました。「フラワーデザイン」と「源氏物語を読む会(二)」です。従来のサークル同様、新会員獲得と会員相互の親睦に役立っていると思います。

「源氏」の方は、私が講師をしておりますが、自分らしい生き方を求める現代女性の心に充分応えてくれる作品でもあり、皆で意見を出し合いながら読んでいます。

昨今は人間関係が希薄になったとよく言われますが、大学婦人協会に限っては、それは当てはまらないような気がします。事務所は年中、会員であふれています。大勢が集まれば、時には意見や考え方の違いも当然あります。それはそれで興味深く、またお互いから学ぶことや啓発されることがとても多くあります。そんな人間関係の中で、より充実した人生を元気に生きるためのエネルギーを貰っているように思います。

二〇〇〇年度の新入会員は三十九名と、賛助会員は十名です。新入会員の皆様は、最初はちよつと尻込みされるかも知れませんが、こんな中に一歩入ってきてください。すぐに仲間になれますよ。

今年度も、委員一同皆様にご参加いただけるよう、色々企画中です。この一年は多忙で果たせませんでした。これからは継続できる勉強会もスタートさせたいと考えています。皆様のご意見ご参加をお待ちいたします。

## 事業報告・予定

- |       |                          |
|-------|--------------------------|
| 3・31  | JAUW                     |
| 4・1   | 第44回通常総会                 |
| 4・21  | 東京支部総会                   |
|       | 記念講演「仕事と私」               |
| 5・28  | 講師 羽田 澄子氏                |
| 5・28  | 見学会 旧古河庭園                |
| 6・5   | 講演会「もっと楽しく美しく生きるために」     |
| 6・27  | 講師 湯川れい子氏                |
| 7・1   | 講演会「テレビ記者の見たアメリカ大統領」     |
| 7・1   | 講師 末延 吉正氏                |
| 7・25  | 羽田監督映画ビデオ鑑賞会             |
| 9・26  | 「安心して老いるために」             |
| 10・13 | 講演会 石井美樹子氏               |
| 10・13 | JAUW全国セミナー               |
| 10・14 | 於国立女性教育会館                |
| 10・24 | 講演会 木村 利人氏               |
| 12・12 | 講演会「導電性高分子の発見とノーベル賞」     |
| 12・12 | 見とノーベル賞                  |
| 1・9/2 | 講師 島 美喜子氏                |
|       | 新春のつどい(本部主催)             |
|       | 国内奨学金贈呈式                 |
|       | (本部と共催)                  |
| 3・1   | 「ともしび」第31号発行             |
| 7月以降  | の事業は、具体的に決まり次第、ご案内いたします。 |

## 東京支部総会報告

書記 木村 和子

二〇〇一年支部総会は、四月二十一日(土)アルカディア市ヶ谷私学会館で開催された。

支部会員総数五一五名中、総出席者数九十五名、有効委任状二四〇通で総会は成立。

坂上支部長の挨拶に続き議事に入り、二〇〇〇年度の事業報告、決算報告、会計監査報告が行われ承認された。次に二〇〇一年度事業計画案、予算案が審議され、第四十四回通常総会残金を「雑収入」に繰り入れること、「基本金積立」は「繰越金」に合算することを含めて承認された。引き続き通常総会報告が支部長よりあり、決算報告及び会計監査報告が行われ承認され、議事は終了した。

次いでJAUW山本会長のご挨拶があり、通常総会は内容があり楽しく盛会であったこと、支部委員への慰労の言葉、さらに会員増加へ向けのお言葉をいただいた。

記念講演は、記録映画監督羽田澄子氏による「仕事と私」という題で行われた。心のエンパワーメントを実践されている羽田氏の有意義なお話を拝聴することができた。

## 2000年度大学婦人協会東京支部決算報告書

## 2001年度予算

2000/4/1~2001/3/31

2001/4/1~2002/3/31

(単位:円)

## 収入の部

科目	予算額	決算額	差額	備考	予算額	備考
I 会費収入	1,500,000	1,383,000	-117,000		1,500,000	
II 基本財産利息収入	25,000	12,681	-12,319		15,000	
III 運用財産利息収入	1,000	940	-60		1,000	
IV 寄付収入	300,000	436,150	136,150	バザー、サークル、講演会一般参加費、他	300,000	バザー、サークル、講演会一般参加費、他
V 通常総会本部補助金	300,000	300,000	0	(本年度のみ)		
VI 通常総会参加費	660,000	759,000	99,000	3,000×253口(本年度のみ)		
VII 雑収入	20,600	20,600	0	入会還付金、賛助会員還付金	92,437	入会還付金、賛助会員還付金、他
当期収入合計	2,806,600	2,912,371	105,771		1,908,437	
前期繰越金	890,685	890,685	0		821,465	
収入合計	3,697,285	3,803,056	105,771		2,729,902	

## 支出の部

科目	予算額	決算額	差額	備考	予算額	備考
I 管理費	1,040,000	1,018,335	-21,665		1,060,000	
(1) 備品費	20,000	0	-20,000		20,000	
(2) 消耗品費	120,000	137,135	17,135	コピー代、封筒、他	140,000	コピー代、封筒、他
(3) 印刷製本費	30,000	56,155	26,155	支部のお知らせ、振り込み用紙、他	30,000	支部お知らせ、他
(4) 通信費	320,000	300,315	-19,685	支部お知らせ、ともしび、本部会報、他	320,000	支部お知らせ、ともしび、本部会報、他
(5) 交通費	70,000	63,980	-6,020		70,000	
(6) 事務所費	120,000	120,000	0	本部へ分担金	120,000	本部へ分担金
(7) 事務手当	360,000	340,750	-19,250	事務員給料一部負担、他	360,000	事務員給料一部負担、他
II 運営費	150,000	65,234	-84,766		130,000	
(1) 総会費	90,000	19,169	-70,831	会場費、マイク代、菓子代、他	70,000	会場費、他
(2) 委員会費	60,000	46,065	-13,935		60,000	
III 事業費	1,660,000	1,687,022	27,022		750,000	
(1) 一般事業費	600,000	528,022	-71,978	ともしび(2回)、講演会、寄付、他	650,000	ともしび(2回)、講演会、寄付、他
(2) 通常総会関係	960,000	1,059,000	99,000	(本年度のみ)		
(3) 国内奨学金	100,000	100,000	0	国内奨学金寄付	100,000	国内奨学金寄付
IV 雑費	20,000	11,000	-9,000	香典、事務所茶業代	20,000	茶業代、他
V 子備費	20,000	0	-20,000		20,000	
VI 基本金積立	200,000	200,000	0	貸付信託	0	
当期支出合計	3,090,000	2,981,591	-108,409		1,980,000	
次期繰越金	607,285	821,465	214,180		749,902	
支出合計	3,697,285	3,803,056	105,771		2,729,902	

2001年3月31日現在

基本金財政状況：貸付信託

¥4,360,000……中央三井信託銀行新宿西口支店

※雑収入には、JAUW 第44回通常総会残金46,837円を含む

運用財産状況：繰越金 ¥821,465

普通預金

¥814,645……中央三井信託銀行新宿西口支店

現金

¥6,820

会計 小池 朋子 小坂 順子 01/4/6 現在

厳正に監査いたしました結果、正確に記載されており間違いのないことを証明いたします

2001年4月16日

会計監査 比留間淑乃 高井 敬子

(印省略)

## (社)大学婦人協会第44回通常総会決算報告書

東京支部

2001/4/10 (単位:円)

## 収入の部

科 目	決 算 額	備 考
I 寄 付 収 入	41,000	支部有志寄付21,000、お祝儀20,000
II 本 部 補 助 金	300,000	
III 参 加 費	759,000	8,000×253口 (欠席者分含む)
IV 諸 経 費 徴 収 分	2,809,000	
(1) 懇 親 会	1,416,000	8,000×177口
(2) 総 会 昼 食 費	442,000	2,000×221口
(3) レクチャー参加費	681,600	5,000×135口 3,000×2口
(4) バスツアー参加費	270,000	6,000×45口
通常総会収入合計	3,909,000	

## 支出の部

科 目	決 算 額	備 考
I 会 場 費	912,242	
(1) 会場使用料	806,213	
(2) 看板(吊、立)	80,043	
(3) ピアノ、OHP使用料	25,986	
II 準 備 事 務 費	121,084	通信費36,095、印刷代55,882、その他
III 諸 経 費 支 払 分	2,787,394	
(1) 懇 親 会	1,529,312	180名分飲食費、演奏者謝礼7万、花その他
(2) 総会昼食費コーヒー代	461,701	222名分昼食費、231名分コーヒー代
(3) 支部長会コーヒー代	19,599	理事支部長47名分
(4) レクチャー	531,841	139名分夕食費、講師謝礼5万、資料代その他
(5) バスツアー	234,941	45名分食事代、バス代8万4千、寛永寺謝礼5万その他
(6) カナダ大使館訪問	10,000	カナダ大使館講師謝礼1万
(7) 事務所訪問	0	
IV そ の 他	41,443	職員手当1万2千、宿泊費補助、写真その他
通常総会支出合計	3,862,163	
残 金	46,837	2001年度東京支部通常会計に繰入
支 出 合 計	3,909,000	

会 計 山崎 邦子 小池 朋子

厳正なる監査の結果、正確に記載されており間違いなことを証明致します。

2001年4月16日

会計監査 比留間淑乃 高井 敬子

(印省略)

## 第四十四回通常総会報告

副支部長 山崎 邦子

三月三十一日アルカディア市ヶ谷私学会館にて午後一時より臨時理事会を皮切りに評議員会、支部長懇談会が開催され、一連の総会関連行事が始まった。

その日は夕方より満開の桜に小雪のちらつく寒い一日であったが、六時からの懇親会には全国から、一七七名もの会員のご参加をいただき、歴代会長のご紹介や眞理ヨシコさんの熱唱に会場は外の寒さを忘れさせる華やかな雰囲気生まれ、他支部の会員との和やかな歓談に楽しいひとときをすごすことができた。



懇親会で唱う眞理ヨシコさん

翌四月一日の総会には出席者二二五名で開催された。議長に山本会長が選出され、逝去会員九名のために黙

祷が捧げられた。続いて総務・各委員会・各支部の報告が行われ、昼食を挟んで、会計報告、二〇〇一年度の各事業計画案と予算案が審議された。また、二〇〇一年度国庫補助事業と第二十七回IFUW総会について、各委員長から説明があった。

全国で繰り広げられている活発な活動の報告と事業計画に時間の押すのが心配される状況であったが、最後に第四十五回総会が神戸で二〇〇二年四月十三、十四日に開催される事が承諾されて閉会となった。

レクチャー(01・4・1)  
カナダの夕べ

「IFUWについて」 青木怜子氏  
「カナダご紹介」 大川美雄氏

総会の熱心な討議での疲れにもかかわらず、二二〇名余の参加者で「大雪」の間は大盛況であった。

青木IFUW第一副会長は、国際会議がいかに進められるか、本会議の前後に開かれる評議員会のこと、ワークショップのことなど、豊かな経験からわかりやすく説明された。九つのテーマのうちの一つ「教育を通して平和を醸成しよう」で司会をされる田中正子会員のコメントもいただいた。

大川元在カナダ大使はO・H・Pを使っての「カナダご紹介」。内容は多彩である。カナダの建国と「ケベック」のこと。一国内の時差が四時間三十分もある広大な国土。地理的延長ではあっても、歴史、文化、考



大川 美雄氏



え方などに米  
国とは違  
うか。国  
連の平和  
維持に對  
する考え  
方、中国  
キューバ  
との関係  
など。

自らの資金を提供し、公邸をたてた初代駐日外交代表のハーバート・マラー氏。後にマッカーサーが彼からの情報を重視する程の知日派のノーマン氏は日本育ちである。

仏系カナダ文学の短篇集の訳・編もされている大川氏はカナダの文学についてもくわしい。「石の天使」のマーガレット・ロレンス、「泥棒家族」のマーガレット・アトウッドなどの作家の他、まだまだお話ししきれないものがあったようである。

「赤毛のアン」や旅行者むけの情報からのイメージとは異った「カナダ」がうかがえ、明日の大使館見学への期待をふくらませて、なごやかに「夕べ」は暮れた。

(三森 紀子)

見学会①(01・4・2)  
バスツアー

### 皇居と寛永寺

三月末の冷たい風雨をじつと耐えた桜の花が見事に満開。皇居と東叡山寛永寺に春を楽しむ。

皇居は桔梗門より富士見櫓を見上げながら宮殿東庭へ。石垣と櫓を合わせ約三十メートルの富士見櫓は明暦の大火で焼失した天守閣の代わりを果たしたというが、海はるか沖合に遠のき、高層ビルの林立する東京をいかに眺めているだろう。一般参賀の行われる宮殿東庭で長和殿と見事な築山、二重橋を眺め、桜と芽吹いた柳の若緑が心和ませる蓮池濠のほとりを進み、東御苑を散策、一周した。昼食は、満開の桜を映す不忍池のほとり「伊豆菜」で饅頭に舌鼓。

午後は現龍院住職浦井正明氏にご案内いただき、五代綱吉公・八代吉宗公の御霊廟、十五代慶喜公謹慎の「葵の間」をめぐる。青銅製で支柱が宝塔の上から地中まで通り地震でも揺らがない「五代さん」の立派な墓、それに比べ質素で脇に楓の木が植えられている「八代さん」、自ら大政奉還したにもかかわらず朝敵とされ、「葵の間」に一人端座し謹慎恭順



東京支部の参加者たち

の姿勢を示した慶喜(けいき)さん、それぞれの時代背景を思いながら浦井住職のお話を興味深く伺った。良き一日を企画してくださった委員の方々に感謝。  
(藤田 典子)

### 見学会②(01・4・2) カナダ大使館

カナダ大使館を訪問したのは、約八十名。まずは、地下二階ロビーにて大使館ご厚意のコーヒーとクッキーのおもてなしを受け、本格的設備のシアターへ案内された。大使館側の窓口として当見学会をコーディネートしてくださった広報文化教育部教育プロモーション担当官ジン・マ

エダ氏からご挨拶。同部一等書記官(報道担当)ジェニファー・ウッド氏の司会で、レクチャー、館内見学、その後の質疑応答が進められた。講師の大賀恵美子氏は(勲)日本カナダ教育文化交流財団理事長として長年にわたり日加交流活動に関わってこられたご経験に基づき、カナダにおける女性の地位について語られた。

「ブラス・カナダ」と名付けられた現在のカナダ大使館庁舎は一九九一年に開館。長四角形の基部一、三階に三角形の上層四階が重なる構造で、赤坂にそびえたつその姿はまさに現代のピラミッドである。かたや、一九三三年に公使館として完成した「マーラーハウス(現大使公邸)」には古き佳き時代がそのまま息づくという好対照。四階テラスのカナダ



大賀恵美子氏



シアターにて

ガーデンは、石と水とブロンズを用いたモダンな表現でありながら、枯山水式日本庭園やイヌイットゆかりの作品も配するなど、伝統と歴史を敬愛する精神が表れていた。

締めくくりにマエダ氏は、カナダでは成人教育が盛んであると誘いを込めて強調。彼の地のキャンパスに立つ自身の姿をふと思い浮かべたのは、私一人ではあるまい。  
(菊池 薫)

### 見学会③(01・4・2) 大学婦人協会事務所訪問

多数の会員の方がたが訪ねてくださいました。「よかつた」のお礼の手紙をたくさんいただきました。今後、いつでもお訪ねください。

東京支部総会記念講演(01・4・21)

## 「仕事と私」

記録映画監督 羽田澄子氏



大連市に生まれ、羽田さんは、小学校、女子学校を中

過ごされました。「仕事をする人間になりたい」と思われたのは、女学校に入る頃だったそうです。自由学園の三年間日本で寮生活された他は、少女期をほとんど大陸で過ごし、そこで終戦を迎えられたことは、羽田さんのバックボーンを考えると、大きな要素になっていると思います。当時の良妻賢母の教育に反発しながら、母堂の蔵書の中の羽仁もと子さんの著作に共鳴され、自由学園を自ら進学先と決めたのも、現在の監督の道に通じているようです。というのも、終戦後、就職もままならない時代に、岩波映画製作所を羽仁もと子さんに勧められました。最初は、岩波写真文庫に入り有名な報道写真家、名取洋之助氏の下で、本の組み立て方、写真の語らせ方を身につけ

ることができたからです。

やがて、岩波映画製作所に入り、いわゆる男社会の中で、いろいろな分野の人たちと働いたことは、自由学園の柔軟な発想の教育と相まって羽田さんの視野をますます広げていったことと推察されます。

初めて手がけた作品は昭和二十九年の「村の婦人学級」でしたが、戦後民主主義の瑞々しい思いをこめることができませんでした。この作品は、その後のドキュメンタリー映画を作る上でのベースになっており、被写体の人たちときちんとした信頼関係を結ぶ大切さも知り、今日までその姿勢を貫いておられるとのことでした。

社会的な問題を取り上げる一方、美の世界に遊ぶ作品も多く、昭和五十二年「薄墨の桜」で世の注目を浴び、昭和五十七年には、「早池峰の賦」で芸術選奨文部大臣賞を受賞されました。これは岩手県の北上山地の主峰、早池峰の山麓に伝承されている山伏が舞ったという神楽を、映像に収めたものです。その経緯は本にも書かれています。記録映画が出来上がるまでの大変さとともに、村の人たちとの交流の豊かさに感動いたしました。

昭和六十年に完成した「痴呆性老

人の世界」は、平成二年の「安心して老いるために」を作るきっかけとなりました。人間に対するやさしいまなざしと、常に社会に問いかけていく姿勢は、介護のシステムが必要であることを訴える映画の制作へと向かわせたのです。

先駆的女性たちの活動にも興味を持ち続けていらした羽田さんは、目下「平塚らいてう」の作品の仕上げに入っているそうです。

「チャンスはいつもアンテナを張ってキャッチしましょう」と私たちにも元気を分けて下さり、羽田さんありがとうございました。

(福田 文子)

見学(01・5・28)

## 旧古河庭園

年代を感じさせる樹木の数かず。垣間見える花はな。入園する前から期待に心がはずむ。

大正初期の様式をとどめる貴重な存在、都の文化財に指定され、本館は(財)大谷美術館が管理にあたる。

見学の心得を伺ったホールには大理石のマントルピース。次はピリヤードの部屋。シックな壁紙。大きな台の重みに耐えられる構造。書斎から



応接室へ。ここは庭園のバラがよく見える「バラの間」。天井が果物の彫刻で飾られた食

堂の、音響の工夫と壁面のバラの彫刻。当時の日本の職人の技にも感動。二階では、洋風空間の中に、和の空間が見事におさめられている。床の間の部屋は真の造り、設計者のジョサイア・コンドル博士の工夫である。

古河家三代目当主の財閥としての苦悩の話。震災時、宿泊所や治療棟に提供し、地元の人々に貢献した話。博士が日本に残したその他の数かずの業績。学芸員の女性の解説に心意気を感じながら庭園へ。

洋風庭園はバラが見頃、当時の貴族たちの様子をイメージしてみる。大勢の見学者とともに日本庭園へ移動。大きな雪見灯籠が池や周囲の緑に映え、荘重な趣き。アークヒルズでの昼食。爽やかな初夏を満喫した一日だった。(橋本津栄子)

## 「声のひろば」

「初夏のひとりごと」

卒寿に近い社会の先達の記した新聞記事に眼が止まりました。「いつの時代もせいっぱい生きる」と。

嬰鏢と、背筋を伸ばし胸を張り、力強く歩くお姿をよくお見かけします。冒頭の精神で生き続けてこられたのだという思いがお会いするたびよぎります。先方はご存知ないのですが、今もお疲れの様子もなく現役で仕事をされておられます。

また、不自由な身体を意に介せず一生懸命な少年の姿に接し、思わず感動に胸踊らされます。そこには昨今のような少年事件の影を払拭するようなさわやかさと未来が覗かれます。人の心に元気を奮い立たせてくれます。

先日、箱根にあるサン・テグジュペリのミュージアムを訪れる機会がありました。彼の著書『星の王子様』の中で一番心に響いた言葉は、「心で見なくちゃものごとよく見えないってことさ、かんじんなことは目に見えないんだよ。人間っていうものはこのたいせつなことを忘れていんだよ。」

心のエンパワーメントに励み、い

つの時代もせいっぱい、自分なりに。

(比留間淑乃)

「老人ホーム」

月に二回、東久留米市にある特別養護老人ホームへ母を訪ねる。ピンクを基調にした築数年の建物。芝生の周りに四季の花々が植えられている。訪れるのは大抵お昼どき。五十人位の老人が食堂で食事をしている。

若い男女のヘルパーさんが数人、きびきびと働いている。三人の車椅子の老人たちに順ぐりに、口の中へ食事を運んであげている女性と目が合った。「ご苦労様」と挨拶される。食事をすませた人の入歯を素手で洗ってあげている若い女性。私は母の入歯はお箸に挟んで洗った。ここで見る限り「今どきの若いものは」な

どと言えない。

窓際の陽の当る場所にいた母が私を見つけて手を上げた。ロビーで話をする。母は自分で車椅子を操作する。九十五才。脳梗塞で寝たきりだった人だ。リハビリの先生が週一度、来てくれると言う。六十代前半とおぼしい女性が近寄ってきた。「誰？」と私を指す。「娘だに」母は信州弁で答えた。「母娘で入居できていいです

ね。私はなかなか入れて貰えない」「レ」が悪いのですか」「頭が少し」

三食ケア付き、あんな親切なヘルパーさんたちを見て貰えるのなら私も入りたい。

(田 律子)

\* \* \*

講演(01・6・5)  
「もつと楽しく美しく  
生きるために」

講師 湯川れい子氏



湯川さん世代にとつてはブレスリーだったごとく、六〇年代の若者がビートルズを聴くことはいわば命の確認だったのだ。古代より音楽は命の深い根源に関りがあり大切なものであった。西洋には音楽療法というものがあるが、音の持つ性質は、今世紀にはより解明されるだろう。

リズムの働きは右脳を活性化し、コーラスや楽器の演奏は他の音を聞くことから、コミュニケーションの原点であり、社会性を養うことができる。人の右脳の発達には、母の子守歌、広い空間で遊び、楽しいリズムを与えられること、大きな声が出せて伸び伸びと体を動かすことができることなどが必要。問題のある子供は幼児の頃、これらが与えられなかったことによるのではないか。

また音楽は、自閉症や記憶喪失、知能障害などの人々の生きるシステムを活性化させる力もあるようだ。人がその時聴きたい音楽がその人を癒す。だからすべての音楽はヒーリングミュージックなのだ。などなど。湯川さんが四十年間音楽を通して見えてきたものが講演の内容であった。

楽しく美しく生きるとは信じたことを夢中でやるということか。最後に素敵な音楽を聴き、大声で歌って、皆「水もした、る良い女」となって帰途についた。

それにしても、英国の施設での、幼児と障害者に対する音楽療法のようすを伝えるビデオは感動的であった。

(片柳 洋子)

サークルから

それぞれ楽しく活動しています。  
(講座名、日時、会場、講師、コメント、連絡先順に記します。)

○東京漫歩くらぶ

次回については検討中です。

○英語講座

・第一第三金曜日十時～十二時

・大久保地域センター

・松本節也元法政大学教授

読書会の楽しみをより深めようと

六月二日、ロイヤルシェイクスピア

カンパニーによる「テンベスト」(於

東京グローブ座)を観劇。また、九

月上旬、英国を列車にて縦断するツ

アーを企画しています。どうぞお問

い合わせください。

・峯川正子

(☎〇二二六八四一八三〇七)

○楽しい俳句会

・第三水曜日 一時半～三時半

・JAUW事務所会議室

・柴崎富子講師

数名の余裕があります。見学、歓

迎いたします。

・海老原典子

(☎〇二二二二三五一一五〇五六)

○源氏物語を読む会(I)

・第三第四水曜日 十時半～十二時半

・JAUW事務所会議室

・坂上栄美子講師

「少女」の巻を終了、「玉鬘」の巻に

入ります。

・平田宏子

(☎〇四七二一四三一五七三)

○源氏物語を読む会(II)

・第二第三第四火曜日

・四谷地域センター 十時～十二時

・坂上栄美子講師

「未摘花」の巻をまもなく読み了え

ます。メンバーも増え、皆熱心では

ほとんど欠席者なし。JAUWの新入

会者に限り、入会受け入れます。

・中山律子 ☎〇三二三三三六一四六二八

○フラワーデザイン

・第三火曜日 一時半～三時半

・JAUW事務所会議室

・河井尚子講師

総会や講演会で、講師のデザイン

したすばらしいお花が大活躍。

数名の余裕があります。ご連絡く

ださい。

・山崎邦子

(☎〇四五一八八一九〇〇二)

楽しい俳句会近詠(アイウエオ順)

花いかだ堀のかたちにしたゆたへり

昭子

薫風の纏りつくや女神像

英子

鳥渡る飛べぬ女のバス旅行

栄美子

薫風やサイクリングの乱反射

恭子

街増場熱帯魚めく少女かな

邦子

峠越す一両電車陽炎へる

朋子

菜畑や大地の果の弧をなせる

夏子

海鳴りを遠く菜の花日和かな

典子

夏足袋の凜たる声の子役かな

文子

托鉢の美男の沙弥や風薫る

瑞穂

手話交す静かな空間風薫る

洋子

川宿や三十年振りの河鹿笛

淑乃

大蟻の孤独引きずる歩みかな

玲子

ぶるると君ののど過ぐわらびもち

玲子

紙魚兵団沙翁全集攻めあぐね

富子

01 JAUW全国セミナーのお知らせ  
・10月13(土)、14(日)。  
・国立女性教育会館(武蔵嵐山)  
東京支部の皆さん、一緒に参加  
しましょう。詳細は、おつてご連  
絡いたします。

◇お願い  
・01年度会費、未納の方はお早目に  
お振込みください。  
・使用済み切手、テレフォンカード  
など、お送りください。年末、中  
野盲人自立センターに届けていま  
す。

◇訂正(第29号)  
2ページ 大川義雄→大川美雄  
7ページ 全国総会→全国セミナー  
おわびして訂正いたします。

編集後記  
○川の流れ、森をわたる風、潮の音。  
イメージしながら、ゆつくりと深呼吸  
をくり返す…。(湯川さんの講演よ  
り)。ほんの二三分間をこんなにも  
奥深く豊かにすごせるとは！  
○原稿のご協力ありがとうございました。

